

# 京橋の印刷

4月10日2002・No.109

東京都印刷工業組合京橋支部  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-17-9  
京華スクエア2F 電話 3552-1855  
FAX 3297-3790  
<http://www.kyobashi-shibu.org>  
発行人 松川 昭義



## この四年を振り返って

副支部長 西山昇

私事で大変恐縮ですが、平成十二年一月漸く今期で組合のお手伝いも終了と思っていたやさき、私の地区で支部長が出ることになり、もう一期お手伝いすることになりました。それも今回は、同じ地区という事もあって、官房長官という重要なポストを任せられることになりました。とくに今期は、課題も多く大変やりがいのある二年でした。又執行部四年という期間は、組合活動を通じて多くの友人、仲間を作ることができ、私にとってはかけがえのない時間でした。

我々印刷業界も大変な様変わりで、IT化に順応していく会社、刷り専門に徹していく会社、営業専門に展開する会社、その色分けが益々はっきりしてくる時だと思えます。こういう時こそ組合という情報ネットワークを使ってお互いに発展していく時だと思えます。特にこれからは、横の繋がりが大事なときだと考えます。なんと云っても東京の印刷が元気でなければいけません、それも京橋の印刷がもっと元気でなければいけません、みなさんで知恵をしばってこの不況を乗り越えましょう。

これからも京橋支部の皆さんがますます団結して発展して行く事を心から期待しています。四年間有難うございました。

京橋支部  
日本橋支部合同  
新年会

一月二八日(月)

於・ロイヤルパークホテル

一月二八日(月)、午後六時よりロイヤルパークホテル・ロイヤルホールに於て「ジョイント二〇〇二」京橋・日本橋支部の合同新年会が開催されました。昨年に続き二回目の新年会ということになりました。来賓として、茂木中央区助役、立石東京都議会議員、斉藤商工課長、水野工団連会長、石塚厚生年金基金常務理事、長山中央厚生事業協同組合理事長、油矢製本工業組合京橋支部長と計七名の御出席を賜りました。又関連業界からは、五十四社、七十八名の方々が出席して下さいました。組合員は両支部合わせて一四四名、組合事務局及び報道を含め総勢二四〇名が集い賑やかな新年会となりました。定刻通りに開会となり、日本橋の小粥副支部長、京橋の松岡副支部長が自己紹介の後司会の席につき新年会は進行してゆきました。

まず初めに、日本橋支部の斉木副支部長が開会の言葉として、昨年の合同新年会以後講演会やセミナー、夏の暑気払い等両支部の緊密さを話されました。次に窪田日本橋支部長、松川京橋支部長が年頭の挨拶を述べました。(後掲)次に、来賓祝辞に移り、中央区助役茂木三千彦様、東京都議会員立石晴康様、中央区工業団体連合会会長水野雅生様(後掲)と続き、最後に関連業界を代表して、社団法人日本印刷産業機械工業会副会長として活躍されている株式会社

桜井グラフィックシステムズ代表取締役社長桜井美国様よりご祝辞をいただきました。(後掲)六時三〇分より小粥副支部長から松岡副支部長に司会が交替し祝宴に入りました。

まず来賓の方々を壇上よりご紹介の後日本橋支部顧問平林智司様よりご挨拶、乾杯の音頭をとっていただきました。懇親会の間に、ミス中央二名、コンパニオンとして振袖さん三名が紹介され、アトラクションとして振袖さんによる踊りが華やかに行われました。

日本橋、京橋両支部青年会によるミス中央、振袖さんとのポラロイドカメラによるスナップ写真の有料サービスが行われました。

宴なかば両支部青年会による福引大会が賑やかに行なわれた。福引会は昨年の新年会が初めてで今回は二回目となります。受付で渡された半券を手には皆様真剣な面持で発表される番号に一喜一憂の様子。それもそのはずで、一等賞生タラバガニ、二等賞生毛ガニから七等賞札幌生ラーメンまで、又本年に限り特別賞としてホテル利用券が賞品として渡され楽しいひと時を過ごしました。

七時五十分頃予定の行事は終了し、中締めとして宇野京橋副支部長が挨拶し滞りなく合同新年会を終了致しました。当日の主な登壇者の皆さんのご挨拶の内容を次に記載致します。

司会(小粥) 大変お待たせいたしました。これより平成十四年新年会を、東京都印刷工業組合日本橋支部、京橋支部合同で開催させていただきます。本日司会を担当いたします日本橋支部副支部長の小粥です。

司会(松岡) 京橋支部の副支部長 松岡でございます。よろしくお願いたします。

それでは開会に先立ちまして、日本橋支部 齋木副支部長より開会の言葉を申し述べさせていただきます。

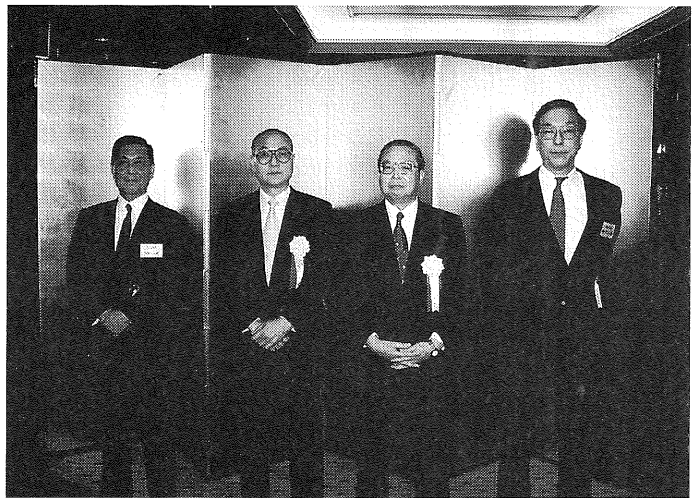
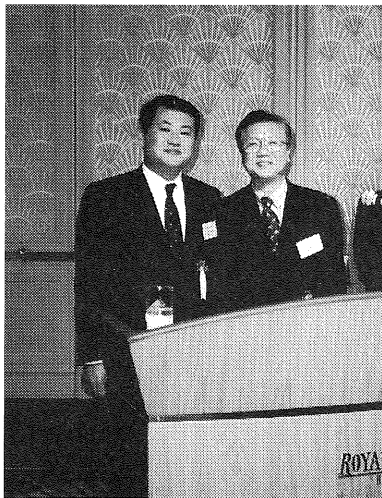
齋木副支部長 高い席より失礼します。日本橋支部の副支部長 齋木と申します。よろしくお願いたします。取りあえず、あけておめでとございます。本日は、このような社会情勢が厳しい中、斯くもたくさんの方の来賓の方、業界関係の方、それから我々日本橋支部、京橋支部とお集まりいただきましてありがとうございます。我々は昨年の新年会は、「ジョイント2001」ということで初めて日本橋・京橋の合同の新年会をやりました。その流れといえますか、昨年の二月に日本橋と京橋、それぞれ中央区のハイテクセンターという中央区の情報の発信基地といえますか、そこにそれぞれ事務局を構えまして、お互いに同じ船に乗って、講演会やセミナー、あるいは夏の暑気払いということで協

力しあって、今年の東印工組の競争ネットワークではありませんけれども、日本橋支部と京橋支部はいち早く去年のうちからやっています。こういう厳しい中ですから、我々業界それぞれ苦しんでいますでしょうけれども、その痛みを少しでも和らげるようにということで、我々2支部頑張っていますので、これからもよろしくお願いします。簡単な挨拶ですけれども、今年ジョイント2002ということで開会を宣します。よろしくお願いします。(拍手)

司会(小粥) それでは、日本橋・京橋両支部長より、挨拶をさせていただきますと思います。まず日本橋支部支部長 窪田秀亮より挨拶をさせていただきます。

窪田支部長 みなさま、改めまして新年おめでとうございます。日本橋支部の窪田でございます。本日は、東京都印刷工業組合京橋支部と日本橋支部の合同の新年会でございます。昨年、このホテルで合同の新年会を催しましたところ、組合内外で大変好評を得まして、本年も第2回ということですのでこのように本日新年会を開催することができました。本日は、中央区のほうから茂木助役様、他多勢のご来賓のみなさま方、そして関連業界のみなさま方、組合員のみなさま方と総勢二四〇名での新年会でございます。このように盛大な新年会ができることを心より感謝申し上げます、御礼申し上げる次第でございます。ありがとうございます。

昨年は新世紀開幕の期待に反しまして、大変国内外を大きく揺り動かすような出来事が起き



て激動の年となってしまいました。また昨年よりずっと長く続いています。経済不況も、今年もあいにく回復する見込みは少ないと思われる。我々印刷業界におきましても、価格の下落、需要の減退と大変厳しい状況が続いているわけでございます。昨年二月には中央区ハイテクセンターが八丁堀にオープンいたしました。その施設の中に、私ども両支部の事務局もお陰様で開設することができました。組合事務運営の合理化が図られています。また来月二月には、ハイテクセンターの有効利用の一端として、地域の活性化のための具体的な活動の研究発表会も開催されます。また地場産業である印刷事業の活性化の研究も進められています。一方、組合の活動におきましては、全印工連、そして東印工組が推進していますところの2005計画にも全力を挙げて取り組み、組合員企業のみなさまが改めて自社の経営計画を再構築いたしまして、競争ネットワーク、これが自社の強みを伸ばし、弱みをお互いに補うというかたちでの競争ネットワークを進めるという構想でございます。そして、同じニーズと同じ悩みを持っている組合の仲間が小さなグループづくりをしていますが、ということを進めていくことですが、すでに日本橋支部の一部では、実践してわずかなではあります。実績を上げているグループもあります。また、IT化の一端として、昨年十一月には印刷組合ドットコムも設立されました。これも期待を大とすることでございます。そのような環境がいろいろあるわけですが、勉

強会、セミナー、いろいろございます。今年は、ぜひチャレンジの年と考え、積極的に前向きにプラス志向で考えたいいただき、一歩でも二歩でも前進して、勝ち組に残るべく組合の仲間として一生懸命頑張っていかなければならないと考えていますので、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。最後になりましたが、ご来賓のみなさま、そして関連のみなさま、なお一層のご指導・鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。また本日参加のご企業のご発展とみなさまのご健勝を祈念しましてご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。(拍手)

司会(小粥) 続きまして、京橋支部 松川昭義支部長よりご挨拶をさせていただきます。

松川支部長 たいまご紹介をいただきました京橋支部長の松川でございます。改めて、みなさん、あけましておめでとうございます。第2回ジョイント合同新年会ですけれども、本当に今回は日本橋支部の役員のみなさまにおんぶに抱っこというかたちでお世話になりました。改めて御礼を申し上げる次第でございます。

世の中厳しいことを言われていますけれども、今日ここに二四〇余名のパワー、京橋と日本橋のパワーを結集すれば、今年きつといい話しも舞い込むでしょうし、かならず乗り切っていけるということで、私は自信を持っています。ぜひ、今日をそのスタートの日として、いい話で元気に盛り上げていただきたいと思ひます。本日はどうもありがとうございます。(拍手) 司会(小粥) 本日は多数のご来賓のご来場を

いただいております。ご紹介につきましては、後ほど乾杯のときに壇上に上がっていただきますして、その際にご紹介させていただきますと思ひますのでよろしくお願ひいたします。それは、ご来賓の方のご祝辞をいただきたいと思ひます。まず、中央区長矢田美英様には本日は所用でご来場いただくことができませんでしたが、代理として、中央区助役茂木三千彦様よりご挨拶をお願いいたします。

茂木助役 ご紹介をいただきました中央区助役の茂木でございます。本日は矢田区長がお招きをいただきましたけれども、中央区のみなさんと同じ地場産業であります築地市場の移転問題の審議をいたします東京都の市場審議会が開催されておりまして、区長はそちらに行っておりましてこちらに間に合いませんということ、私が代わってご挨拶を申し上げます。ありがとうございましたと思ひます。

印刷工業組合京橋支部、それから日本橋支部のジョイントの新年会がこのように盛大に開催されましたことを心からお喜び申し上げます。

平素は両組合のみなさま方には、区の産業振興に殊の外お力添えを賜りまして、本席をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。先ほど来、支部長さんからお話もございましたが、大変厳しい状況が続いております。月例経済報告でも景気は悪化しているという表現が続いております、本区は特に中小企業の町でございますので、その地場産業への影響が極めて大きく懸念されているところでございま

す。昨年二月に区立のハイテクセンターを整備いたしました。そこで、みなさま方の技術の革新だとか、情報化への対応だとか、様々な取り組みをしていただく場を設けたわけですが、なかなかそれだけで十分という訳には参りませんが、金融的な側面からも取り組みが迫られていること。また、区としてできる地場産業への支援策というのが、どういものができるといいうことも検討の課題にしていかなければいけないというふうに考えているところでございます。しかし、なかなか一つひとつの企業のご支援というのは、極めて難しい問題が多々ございます。どうか、みなさま方におかれましては、組合の団結によつてこの急場をぜひ乗り越えていただきたいと思います。両支部がせっかく手を繋いで新年会を開催して2回目になります。どうか、このジョイントの成果を、ぜひ上げられますように心から祈念を申し上げます。最後になります。両支部の発展と会員みなさま方のご繁栄を心から祈念申し上げます。本日は誠にありがとうございました。(拍手)

司会(小粥) 茂木助役様どうもありがとうございます。ありがとうございました。続きまして、東京都議会議員 立石晴康様、お願ひいたします。

立石議員 今日のみなさまにお招きをいただきまして、感激ひとしおです。と申しますのは、中央区内に印刷工業組合の支部が二つあります。そして個人的にはたくさんの古い会社のお

友達も多いのでありますが、こんなに結束をさ  
れているという姿を見て、本当に頼もしく思  
いました。言うまでもなく、印刷は情報の基礎で  
す。情報はいろいろな知りたいたいことを知らせて  
いただく、まさに情けを報じる、文字通り情報  
の基礎となります。両組合が、いよいよご発展  
されますことが真実真相の社会の発展に繋がる  
と信じます。それはなぜかという、私は名前  
を言ったらちよつと失礼かと思いますが、敢え  
て名前を申し上げますと、大変売れている雑誌  
があります。旅行の雑誌です。某社ということ  
にいたしておきますが、それは我々の年代が知  
りたいこと、そしてまた若い人たちが知りたい  
こと、お年寄りが知りたいことが如実に良く書  
かれています。基本はやはり印刷にある。そうい  
うことを思いますと、非常に厳しい時代である  
ことは言うまでもありませんが、みなさまのお  
仕事ぐらい世の中のためになるものはありませ  
ん。中央区の産業の基礎です。石原慎太郎東京  
都知事は観光立国、言ってみれば千客万来の東  
京を作ろうと騒いで主張いたしております。簡  
単に申し上げれば、三十年前にラスベガスに訪  
れたお客様は三〇〇人であった。それが一生懸  
命に観光誘致をしたならば、今は三〇〇万人に  
増えた。これはかつて博打の町から、ファミリ  
ーで楽しめる愉快な楽しい素敵な素晴らしい町に  
代わったからこそ、大勢の人が訪ねるようにな  
った。大変にエキサイティングな町であります。  
もうみなさまも何遍も行っておられることだと  
思います。わが東京もそうしていこうというこ

とです。その基本はやはりわが中央区です。そ  
ういう意味におきましても、窪田支部長、そし  
て松川支部長、両支部長の下に歴史と伝統のあ  
る両支部がまさに橋を架けてジョイントで発展  
されますことは、東京の発展にも大きく繋が  
ります。みなさんがこの不況の中に加速度的に大  
きな変化の下にご発展されますよう偏えにお祈  
り申し上げて新年のご挨拶とさせていただきます  
す。おめでとうございました。(拍手)

司会(小粥) 立石様、力強いご挨拶をありが  
とうございました。続きまして、中央区工業団  
体連合会会長 水野雅生様お願いいたします。  
水野会長 みなさま、明けましておめでとうご  
ざいます。私は昨年十月に工業団体連合会の会  
長の役を前小葉会長からお引き受けいたしまし  
た。地域産業の活性化、近代化、そして工団連  
の発展のために大変ご尽力くださいました前会  
長の業績をさらに伸ばしていくために、私はこ  
のことを胸に思つて邁進していきたいと思つて  
いますので、みなさまぜひご指導いただきます  
ようお願いいたします。

昨年来より大変な時代が続いています。この  
景気の低迷という中で、追い打ちをかけるかの  
ように米国のテロ事件、そんなことがあります  
て、みなさま、我々の現状は一層厳しいものにな  
ってきているというように思います。印刷業  
は中央区の地場産業であります。印刷屋は不況  
に強いといった神話はもはや崩れ、混沌とした  
状態が続いています。どのように対応してい  
いか模索をしているところでございますが、し



かし苦しいからこそ、成長がある。情けない声  
を出すな、弱みは禁句ということ、それに対処  
していかなければいけないと私は思っています。  
みなさん方もそういうようなことで、ぜひこ  
の難局を乗り切っていたいだきたいと思えます。

先ほど来ご紹介がありましたように、中央区  
の工団連は、昨年二月にハイテクセンターが誕  
生いたしました、区議団、あるいは区長様のご  
尽力、お力添えでできたわけです。この場を我々  
はどのように活用していくか。今後大きく問わ  
れている時だと思えます。このハイテクセン  
ターの活用、これは産業の壁を越えて地域の活  
性化のために行わなければならないと、今この  
各工業団体のみなさんが出て、これをいろいろ  
検討しているところでございます。

さて工団連も、今年は四十周年を迎える年で  
ございます。四十と言えば、人間にとつては不  
惑の年といわれていますが、これは企業におい  
ても厳しい経済状況の中でこれは例外ではない

というように私は思います。高度化、進んだハイテクといった時代に、我々はどうのように対応していけばいいか。今模索をしなくてはならないわけなんです。このような節目の年に我々四十周年を迎えて、さらに発展していかなければいけないということで、今年十月に産業文化展が日本橋プラザで開催されることになっています。みなさま方の一層のご支援、ご指導をよろしくお願いしたいと思います。最後に、みなさま方のご企業の、そしてご列席のみなさまのご健康を祈念いたしまして、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。ありがとうございました。(拍手)

司会(小粥) 水野様、どうもありがとうございます。本日は多数の関連業界の方々のご出席をいただいております。本来でしたら、一社一社ご紹介申し上げたいところなのですけれども、時間の都合もございまして、プログラムのように掲載してございますので、それをご覧ください。それでは多数ご出席の関連業界のみなさまを代表いたしまして、社団法人日本印刷産業機械工業会副会長 株式会社桜井グラフィックシステムズ代表取締役桜井美国様よりご祝辞をいただきます。と思います。

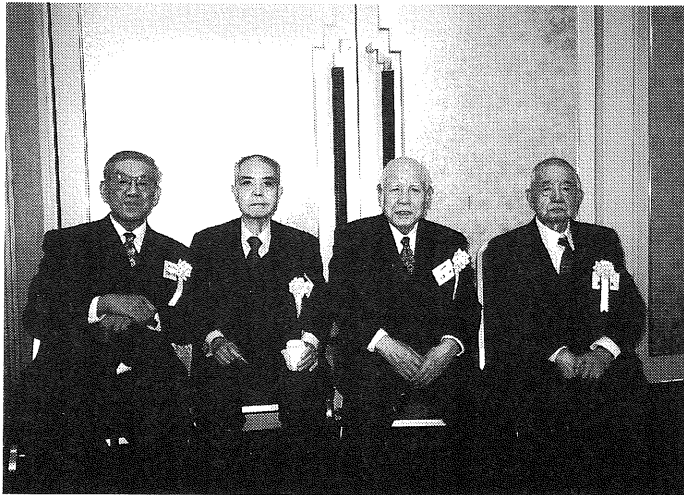
桜井社長 京橋支部、日本橋支部のみなさま、あけましておめでとうございます。私は中央区の生まれでございます。ちょうど京橋と日本橋の境のところで生まれています。ですからこの会に出させていただく時は、一緒に楽しませ

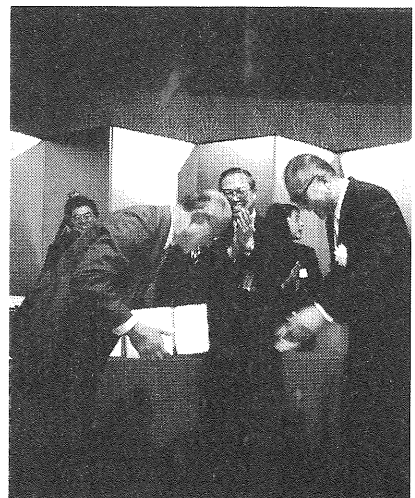
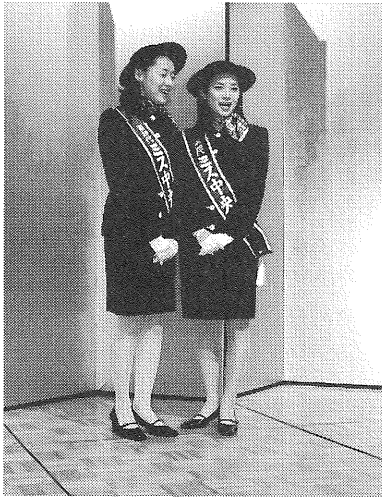
ていただくつもりなのですが、今日は大役を仰せつかりましたので少し緊張しています。お許しいただきたいと思えます。

さて今日は二八日ですが、もう今年も十二分の一が終わろうとしています。たくさんの新年会がございまして、私も出席させていただきましたが、どの新年会に参りましても去年の大きな出来事から続く不況の話でいっぱいでした。今年もダメだろうというご意見もありましたし、今年は少し覚悟しておかなくてはならないというような厳しいご意見もありました。しかしその一方で、何かが変わっているような気がいたします。去年の暮れから変わりつつあるというご意見もあちこちで聞かせていただきました。考えてみますと小泉さんが内閣を組織されてまだ一年にならないのですけれども、景気は良くなるどころか益々落ち込んでいく。それにも関わらず支持率は八〇%を越すような勢いだと思えますね。その理由を私なりに考えますと、やはり国民である我々がもう何か変わってもらわないと困る、変えなくてはいけないんだと感じているからではないかと思えます。それが姿として少しずつ表れてきているので、みなさんが何か変わるんじゃないかなという気を持たれて、それがいろいろなお話に出てきたのではないかと私は考えております。

先ほどから中央区の地場産業と申されましたが、私は印刷業は東京都の代表的な産業だと思えますし、今言われています産業の空洞化ともあまり関係のない、大変私どもから見ればあり

がたいお客様だと思います。我々製造業が競争力を失って、またモノづくり産業がダメになったと言われて久しいのですが、今年こそ、みなさま方のお力を借りながら、我々企業も大いにモノづくりの基盤をもう一度作り直していきたいと思えます。どうか、今年一年もみなさま方の厳しく、また温かいご支援とご教授を心からお願いいたしまして、私の今日の感謝の気持ちとまたお祝いに代えさせていただきます。今年もみなさま方の一年が大変よろしい、いい年になりますことを祈念いたしましてご挨拶に代え





させていただきます。どうもありがとうございます。  
ました。(拍手)  
司会(小粥) 桜井様、ありがとうございますまし  
た。

## 地区だより

### 築地地区旅行記

平成十三年十月中旬、雨の日が二日程続いていた。果たして十九日出発の我等の旅はどうかと心配していた。しかし、当日は朝は昨日までの雨天は嘘のように晴天と変わって、我が築地互友会の工場見学の旅行は爽やかに出発することが出来た。そして参加予定者が一人も漏れ無く、発車時刻、発車ホームを間違えることなく集まって来られたので、幹事役としては一安心というところである。定刻通り新幹線は東京駅を発車した。

爽やかに出発となったが、内心は若干暗いものがある。その原因は長い不況のトンネルである。隠しきれぬ浮きうき気分が楽しさ一杯の慰安旅行ではなく、研修会としての工場見学の旅なりという名目ではあるが、不況のため少しでも無駄を省き、極力経費を切り詰め、儉約に努める工場経営の中で、後に残って働いている社員諸子に若干後ろめたい気分がする。昔はよく皆で出かけたものだった。「長屋の花見」のような野暮ったさはあったが、春には花見、夏は釣や海

水浴に、秋には紅葉狩りや温泉地へと社員も家族も揃って出かけたものだった。時代が変わって、いわゆる楽しみ方も変り、今どきの若い人達は社員旅行を好まない傾向にあると聞くが、希望があってもこの不況下では全くその余裕が無いところがある。我が築地互友会の旅行は四十年以上続く伝統的なものである。互友会と云うよりは豪遊会だと思わせる時代もあったと聞く。平成二年頃より工場見学会としての趣が濃くなっているが、年一回の旅行は本



名古屋パルプ工場正門にて

当に楽しんだ。この旅行会に参加させていただいてかれこれ十八年位になるだろうか。そしていつしか旅行を企画する側になって、十年余りになっている。物好きといわれながらも、他にその役を替わってくれる人がいないことを良いこととして毎年関わって来たが、不況との戦いに悪戦苦闘しているためか、今日あたりから少し疲れて来た感がある。来年はもう出来ないかも知れぬ等と情けないことを思いつつ車中の人となったが、電車は順調に西へ向かって走って行く。午前十一時半、名古屋駅に到着すると改札口には、可愛いお嬢さんが「豊橋観光バス」の小旗を掲げて我々一行を出迎えてくれた。目指す見学地の名古屋パルプ株式会社の工場へはバスで一時間位の予定である。名鉄電車でも行けるのだが、乗り替えがあったり、ホームでの待ち時間があつたりして面倒臭いということとで思い切って観光バスをチャーターした。名古屋駅前を出発して広小路通りを北東へ向かう。しばらくして車は左折、国道四十一号線を西に向かって走ってゆく。道路状況は良好で殆んど渋滞はない。小牧市を抜け、犬山城を眺めながら愛知県より岐阜県に入る。約一時間十五分位で全く道に迷うことなく目的地に着いた。ここは愛知県と岐阜県の境で、もう少し行けば美濃加茂市に至ると言う。岐阜県可児町土田というところで、木曾川支流と名鉄線の線路に挟まれた一角にその工場があった。

工場正門を入ると本社ビルがあり、その玄関

口にバスが横づけされた。今回の工場見学の紹介の労を取ってくれた、大王製紙(株)、卸営業部の芝田氏、島野氏が東京から来てくれていて、名古屋パルプ(株)工場長小野氏等と共に我々一行を出迎えてくれた。

まずは会議室へ案内され、取締役工場長の小野氏より歓迎の挨拶とこの工場の概要が説明された。

会社の概要として我々のために態々作ってくれたとみえるカラーコピーされたパンフが会社案内と共に配られた。

名古屋パルプ(株)は、設立昭和三十一年、資本金三億円、従業員数五三〇名、売上高六百三十億円、工場面積六万五千坪、生産能力として、パルプ月産三万三千トン、紙二万八千トン、用水使用量毎日六万六千トン、電力使用量六万五千KW、その内半分は自家発電で賄う。又蒸気発量は一時間に三二五トンなりで、この熱力は工場内で有効に使われているという。

設立当初は愛知県下の有力企業家が出資して、県内外の建築廃材を集め紙の原料とし、松坂屋等の包装紙を生産していたという。昭和五十八年に大王製紙グループの一員となりコンピュータ用紙、フォーム用紙、ノーカーボン用紙等の情報関連用紙の製造開始、六十年には、ティッシュペーパー「エリエール」の製造を始め、翌年ティッシュペーパーのトップシェアを得るに至った。今ではこの工場の製品生産の五十%がティッシュペーパーであり、大王グループ関連会社の中でも四十%の生産比率を誇



る工場となっている。

簡単な説明が終わると本社社屋を出て、工場内へ行く。今回は色上質、ノーカーボンの原紙の製造工程を見学、広い工場をあちこち歩き廻って、驚いたり、感嘆したりして見学した。

コート紙に印刷されたものだけの古紙がうず高く山のように積み上げられていた。コート紙の方がインキ等の脱墨、漂白がしやすいという県下の小学校も協力して、古紙を提供しているそうだ。しかし、製紙生産の原材料としては大部分が木材チップである。

南米に六万ヘクタールの植林地を有し、そこで成長の早いユーカリの木を育て、現地で細かく切ったチップを日本へもってくるのだとか。そして蒸解工程、精選、洗浄工程、漂白工程を経てパルプ原料となって抄紙機にかけられきれいな紙と生まれ変わることになる。

この工程のなかでは石油・石炭等は使用せず、カセイソーダを一五〇度に熱して使用している。節水につとめ、漉過を繰り返して、循環的に作業をして、殆んど捨てるものは無いという。

最後に残ったものは肥料や道路用の材料となる。工場内はゴミがなく精微が尽くされているように感じた。

午後三時半、見学は終了した。大きな函の菓子折りをめいめいに頂戴して工場を後にした。

バスは南へ向う。中央自動車道多治見インターより高速道へ入る。紅葉はまだ進んではいないが車窓より眺める山々の杉や松の緑が鮮やかだ。道路沿いに群生したすすきが風に靡いて

いるのが目にやさしく映る——いよいよ秋も深まって行くのかと思わせる。そんな閑かな風景の中バスは順調に快適に走ってくれる。気分よくまどろんでいるうちに小牧ジャンクションより東名高速道へ入り岡崎市へと出た。一般道に降りて蒲郡市に入っていく。ここからは狭い道を慎重に車を進め、今日の宿泊地、西浦温泉郷へ五時半に到着となった。

ゆつくり湯につかって、いよいよ六時半より小宴会だ。昨年同様コンパニオンは無し。静かに箸を運んで海の幸を味わう。それでもカラオケ位はないと演歌師の幹事が可哀相だとカラオケの器械を借りてくる人あり。気を使ってくれてありがたいが、この不況の折り歌声もこぶしの廻りようも、湿りがちだ。それでも皆におだてられて歌いだせば、気分は上々、数曲も歌えばいつしか脳天気な奴となる。そして和やかに宴は続く。深酒をしてハメをはずす御仁もなく、八時半頃にお開きとなる。

又ひとつふる浴びてテレビを見ながらゴロリと横になる。同室の仲間とそれとなく話をする。

つい最近、築地村では古参の一社が廃業したことが話題となる。その先代社長は我々の先輩で、築地地区の組合として古くから貢献されたが、三代目の社長は人好き合いを嫌って我々の互友会から身を引いていたので、何故廃業したのかは詳しくは不明のままであるが先代からの銀行借入があり、銀行が一括返済を迫ったという。黒字経営になる程努力をしていて、返済しないと云う事でなく、面倒をみてくれれば完

済する見通しはあったようだ。

不良債権の処理も必要であろうが、みすみす生き延びる企業を結果的には潰すことになるのは銀行も悪人呼ばわりされても致仕方あるまい——まさに悪政だ。この大変な不況のなかで、本当に国民の苦しみを知っている政治家がいるのか。何も悪いことはしていない、まじめに経営努力をしても仕事は減る。利益は減り、借金が膨らむ、そして経営は益々困難になる。かつては銀行等がほとんど金を貸す。借入金が多量増えてもそれ以上の利益が生まれると思っていたが、いつしかバブル経済が破綻、土地の価値が大幅に下落、そして株価も下り放しで、

これはと思う大企業まで潰れる。そして失業率は増加する。それでもこの国では政官財のリーダーは誰一人として責任を取る者はいない。

今年はや前代未聞の重大事件があった。九月十一日米国での同時多発テロ事件だ。敵国が特定出来ない戦争が始まっている。十月に入って遂にアメリカ軍のアフガン空爆が始まった。目にはめを、歯にははをという事での大国の威信にかけた武力行使だ。反対する人は少ないだろうが、アメリカが何故テロ集団の標的になったのかを考へることも大事なことであるとの判断に立つ人も多いのではあるまいか。宗教と宗教の対立、文明と文明の対立、民族と民族の対立がある中で、互いに理解し合い、対話を忍耐強く重ねる努力が世界中で、繰り返されなければ二十一世紀の世界平和はやって来ないと思われる。国家のエゴ、しいては人間一人一人のエゴ

が様々な争いを起し、最も悲惨な戦争と云う状況を生み出している。そしていつも弱い立場の者が必ず犠牲になり、尊い生命を失ってゆく。

こんな世界的な話より日本の社会状況を考えれば、このテロ戦争で益々日本経済の混乱に拍車をかけそうだ。不況は度を増してひどくなり、来年こそ正念場となるのか、我が印刷界はどうなるのか、組合活動はどうなるのか。組合の役員となることは、いわゆるボランティア精神がないと出来ない。役を買って出たことによつて特に商売が好転する人は少ないように思える。だが人間は他人のためにならうと云う気持ちが無いと人間として失格ではないか。情は人のためならずというが、これ又仲々難しい問題だ。

翌朝は又からりと晴天、朝食後ホテル前には昨日お世話になった観光バスがお待ちである。附近の観光ということで、三ヶ根山スカイラインへ向けて出発した。三ヶ根山の山頂には程なく到着。天気も良く、陽光眩しく、風も清しく、暫し山頂より周りの風景を眺める。目の前には渥美半島が見える。そこから目を下へ移せば、三河湾の海が穏やかに映る。右手吉良町の方には前島、沖島の小さな島が浮かんでいる。左手に目をやれば、昨夜のお宿、西浦温泉、その又左の奥へ三谷温泉がある方向には三河大島、小島そして竹島がかすかに望める。

山頂附近を少し散歩した。少し歩くと思いがけなく、先の大戦にまつわる、殉国七士の墓と

昭和二十年夏の敗戦の日、その頃は小学校三年生だった。昔の少年時代には、大きく変わった「山本元帥」のような軍人とならんと真剣に思っていた。従兄弟が海軍兵学校へ進んで、軍服にサールを下げて訪ねて来るのが多かったがその勇姿に心から憧れていたものだった。皆が願っていた神風が吹くこともなく、無謀な戦いは敗れる時が来て、日本国初めての敗戦国となった。かつての英雄は、戦争犯罪人となり、国際軍事裁判で絞首刑となった。東条英機首相等その時のリーダー達や特攻隊の若き英霊等の慰霊碑があった。

国民学校二年生の時、信州へ逃れたがそれでもまだ敗戦の憂き目をみようとは思いつかなかった。紀元節、天長節、明治節と、菊の紋章の菓子を大事にもつて下校した頃の事が思い浮かべられた。

しかし、この大戦で若き尊い生命が数多く戦火に散った。戦争程恐ろしいものはない。まさに二十世紀は戦争の世紀だった。二十一世紀こそ、生命の世紀、平和の世紀と誰もがねがうところなれど、まだまだ前途は多難である。

三ヶ根山スカイラインを下つて、蒲郡市内へ戻り、予定外であったが竹島へ立ち寄った。そのため昼食をとる料理店へ着くのが若干遅れてしまった。狂牛病を恐れる人は誰もなく、しゃぶしゃぶ料理に一同舌鼓を打った。幹事としては味わうどころか、時間の経過の方が大いに気にかかっていた。急いで昼食を済ませ、心配顔のバスへ戻る。これから急いでバスを走らせても、

豊橋駅へはギリギリの時間ですと運転手殿がいる。こだま号に乗りおくれたら大変だと、無事の到着を祈りつつバスにゆられていた。賢明なる運転手殿の手腕で数分前で駅に到着、すばやく新幹線にのりこんだ。無事故で帰京出来たことに感謝をしつつ旅を終えた。(春原記)

## 支部役員研修会 (工場見学会)

11月9日(金)、11月10日(土)にかけ支部役員による工場見学会を開催しました。

場所は支部組合員ミズノプリテック(株)様の紹介により富士山麓に広大な森の中に広がるファナック(株)の本社工場です。この工場社屋は外壁はすべてファナックイエローと呼ばれる鮮やかなイエローで統一されており、工場内のロボットマシンも、女子職員のユニホームもこの色一色で別世界の中にある様な工場でした。内部の工場はすべてロボット化されており、特に自動化が最も進んでいるサーボモータ工場を主に見学しました。



## 支部の動き

10月4日(木)本部支部会長(15時30分)

於・本部会議室 松川支部長出席

10月9日(火)「湊地区パソコン教室」(18時30分)

於・京華スクエア2階研修室

「World入門講座パートIII」

。文書作成

。季節の挨拶(暑中見舞い)

。会合の案内(納涼大会のお知らせ)

。会員名簿・宛名印刷

10月11日(木)部長・監査・地区長会(12時)

於・京華スクエア 2階ロビー

。支部長会報告事項

。各種委員会報告事項

。京橋支部ネットワーク化の推進と「パソコン教室」(仮称)の開催について

。支部役員の工場見学会(11/9～11/10)の開催について

。2002年京橋・日本橋支部「印刷合同新年会」の開催について

。その他

10月12日(金)「湊地区パソコン教室」(18時30分)

於・京華スクエア2階研修室

「Excel入門講座パートIII」

。表計算とは

。金銭出納帳(お小遣い)

。会員管理台帳

。成績管理(ゴルフ成績・麻雀大会成績)

10月22日(月)「京橋支部ネットワーク化」講習会

(18時～20時)於・京華スクエア2階研修室

経営幹部向け講習会「印刷業におけるコンピュータの活用」

。データベースに関する基礎知識の習得

とその活用

。京橋支部ホームページでの情報伝達システム・会員データベースの活用方法

について

講師・(株)スリーエヌエフコーポレーション

副社長伊藤文子氏

11月1日(木)本部支部長会(15時30分)

於・本部会議室 松川支部長出席

11月6日(火)東印工組「敬老の集い」(10時30分)

於・明治神宮 松川支部長他出席

11月9日(金)～10日(土)支部役員研修会(工場見学会)の開催・フナック(株)、部長・監査・地区長会

於・あつぎ飯山温泉・元湯旅館(17時～18時30分)

。本部支部長会報告

。各種委員会報告事項

。今後の支部事業・行事について

。京橋支部「パソコン講習会」(社員向け)の開催について

。次期役員選考委員会の開催について

。顧問・相談役・参与の会の開催について

。2002京橋・日本橋支部「合同新年

会」の開催について

。2002京橋・日本橋支部「合同新年

会」の開催について

。顧問・相談役・参与の会の開催について

。2002京橋・日本橋支部「合同新年

会」の開催について

。2002京橋・日本橋支部「合同新年

会」の開催について

。2002京橋・日本橋支部「合同新年

会」の開催について

会」の開催準備状況について

- ・「東印工組・東グラ・GC東京 合同新年会」参加券の支部割当と講習会の申込みについて
- ・その他

11月16日(金)京橋支部・パソコン講習会「パソコンの便利機能を学ぶ」(従業員向け) (14時～16時)

- 。講座Ⅰ (Word便利機能)
- 。Worldの「こんな利用方法もあります」

。講師 (株)スキルメイト・インストラクター

11月20日(火)京橋支部・パソコン講習会「パソコンの便利機能を学ぶ」(従業員向け) (14時～16時)

- 。講座Ⅱ (Excel便利機能)
- 。Excelの「こんな利用方法もあります」

。講師 (株)スキルメイト・インストラクター

11月22日(木)本部理事会 (15時～)

於・健保会館 松川支部長他出席

11月27日(火)次期役員選考委員会 (11時30分～)

於・京華スクエア2階ハイテクセンター・ロビー

- 石澤顧問(委員長)・小葉顧問・小山顧問・篠倉顧問・荒川相談役・十文字相談役・松川支部長・宇野副支部長・春原地区長以上9名主席

12月6日(木)本部支部長会 (15時30分～)

於・本部会議室 松川支部長出席

12月13日(木)部長・監査・地区長会 (12時～13時30分)

於・京華スクエア2階ハイテクセンターロビー

- 。支部長会報告事項
- 。各種委員会報告事項
- 。次期役員選考委員会開催 (11月27日)の結果について
- 。2002年京橋・日本橋支部「合同新年会」について
- 。その他

12月14日(金)顧問・相談役・参与の会開催 (17時30分～)

於・富士通築地クラブ

- 。2002年京橋・日本橋支部「合同新年会」について
- 。次期役員選考委員の状況について

1月11日(金)中央区工業団体連合会「新年初顔合わせ会」 (18時～)

於・中央会館7階

1月16日(水)本部「合同新年会」

- 。東京都印刷工業組合
- 。社団法人東京グラフィックサービス工業業会
- 。東京グラフィックコミュニケーションズ工業組合 (18時～)
- 於・帝国ホテル「孔雀の間」 (16時～) 講習会

1月23日(水)中央厚生事業協同組合新年会 (17時30分～) 於・躍金楼 松川支部長他出席

1月25日(金)東京都製本工業組合京橋支部「新年研修会」 (18時～)

於・銀座ラフィナート 松川支部長出席

1月28日(月)2002年京橋・日本橋支部「合同新年会」の開催 (18時～20時)

於・ロイヤルパークホテル・ロイヤルホール

- 。開会 (18時)
- 司会 京橋支部 副支部長 松岡誠一郎
- 日本橋支部 副支部長 小粥恭之
- 開会の言葉
- 日本橋支部 副支部長 斎木政宏
- 年頭のご挨拶
- 京橋支部 支部長 松川昭義
- 日本橋支部 支部長 窪田秀亮
- 来賓紹介 (18時20分)
- 来賓祝辞
- 中央区助役 茂木三千彦様
- 東京都議会議員 立石 晴康様
- 中央区工業団体連合会会長 水野 雅生様
- 関連業会出席者紹介
- 関連業会代表祝辞
- (株)桜井グラフィックシステムズ代表取締役 桜井 美国様
- 祝杯 祝賀会 開宴 (18時40分)

東京都印刷工業組合日本橋支部顧問

平林 智司様

。福 引 (19 時 15 分)

。両支部青年会

。中締め (19 時 55 分)

京橋支部 副支部長 宇野一男

来賓出席者御芳名

茂木三千彦様 中央区助役

立石 晴康様 中央区議会議員

齊藤 進様 中央区区民部商工課課長

水野 雅生様 中央区工業団体連合会

石塚 淳敏様 東京印刷工業厚生年金基

長山 浩様 中央厚生事業協同組合理

油矢 博様 東京都製本工業組合京橋

支部支部長

福引景品目録

特別賞 1本 ロイヤルパークホテルさ

んよりご協賛品

一等賞 2本 活きタラバガニ

二等賞 4本 活き毛ガニ2尾入

三等賞 4本 パソコンラベルメーカー

四等賞 10本 コーヒーメーカー

五等賞 20本 VHSビデオテープ

六等賞 25本 C D I R W

七等賞 30本 札幌生ラーメン

残念賞 外れ券全部 卓上電卓付き時計、

フィルムカメラ他

2月1日(金)~2日(土)部長・監査・地区長会

於・熱海さくらや

2月5日(火)顧問・相談役・参与の会及び次期役

員選考委員会の同時開設(11時30分~14時)

於・京華スクエア2階ハイテクセンター・

ロビー

。次期執行部役員候補者の承認

。これからの支部事業、運営についての

意見交換

2月6日(水)中央区「商工住を一体化した地域活

性化」の明治学院大学経済学部神田良教授

ゼミ 第2回研究発表会(18時30分~)

於・中央区役所8階大会議室

2月7日(木)本部支部長会(15時30分~)

於・本部会議室 松川支部長出席

2月13日(水)部長・監査・地区長会(12時~13時

30分) 於・京華スクエア2階ハイテクセン

ター・ロビー

。支部長会報告事項

。各種委員会報告事項

。次期執行部役員を選考結果について

。支部「時局講演会」開催(3/13)に

ついて

。その他

2月20日(水)中央区中小企業商工業関係者表彰式

(16時~)

於・中央会館 松川支部長出席

2月21日(木)2002年京橋・日本橋支部「合同

新年会」会計報告会(12時~)

於・京華スクエア2階ハイテクセンター・

ロビー

2月27日(水)第12回中央区産業文化展、第一回実

行委員会(10時30分)

於・中央会館7階 松川支部長他出席

3月7日(木)本部支部長会(15時30分~)

於・本部会議室 松川支部長出席

3月13日(火)ハイテクセンター開設一周年記念講

演会の開催(18時30分~20時)

於・中央会館7階「孔雀・芙蓉の間」

。司会 京橋支部 花崎副支部長

。挨拶 京橋支部 松川 支部長

中央区 斉藤商工課長

。テーマ「日本をとりまく軍事情勢」

。講師 朝日新聞編集委員・筑波大学客

員教授田岡 俊次氏

3月14日(木)部長・監査・地区長会(12時~13時

30分)

於・京華スクエア2階ハイテクセンター・

ロビー

。支部長会報告事項

。各種委員会報告事項

。今後の支部事業・行事について

。次期地区役員の地区選出状況について

。5月20日(月)の通常総会役割り及び事業

報告書の作成について

。「京橋の印刷」109号の発行について

。その他

3月20日(火)本部理事会(15時15分~)

於・印刷健保会館 松川支部長他出席

3月26日(火)内定新役員初顔合せ会(18時~)

於・京華スクエア2階ハイテクセンター・

ロビ

支部員の異動

● 加入組合員

○ 新富地区、コクダイ印刷(株)

大嶋和十三殿

10月

○ 京橋地区、準組合員日本レーベル印刷

(株)東京支社小栗慎二殿

11月

● 脱退組合員

○ 湊地区、三進印刷(有)

池宮義久殿

1月

○ 新川地区、三秀(株)

堀江昌宏殿

1月

○ 八丁堀地区、宮間印刷(株)

宮間元治殿

1月

○ 八丁堀地区、(株)精巧堂

田中桂介殿

2月

○ 入船地区、(有)旭印刷

江原保殿

2月

○ 入船地区、亜土印刷(株)

青木純二殿

2月

○ 銀座地区、大秀印刷(株)

保木厚秀殿

3月

お悔やみ申し上げます

▼ 入船地区、永井印刷工業(株)相談役、永井直保

殿御逝去 (10月)

▼ 湊地区、加賀美印刷(株)会長ご母堂、加賀美は

ぎの殿御逝去 (11月)

▼ 銀座地区、(株)京屋社長、児玉昭太郎殿御逝去

(11月)

▼ 新川地区、昌平堂印刷(株)会長、伊森淳太殿御

逝去 (2月)

